



ことば遊び ～ さかさまことばで遊ぼう！ ～

今回の遊びは、聞いたことばを逆さまに言う遊びです。例えば「まめ」と聞いたら、㊤と㊦の順を入れ替えて「めま」が答えになります。聞いたことばを頭にとどめておく力が必要になるので、ことばが3音、4音と長くなるほど、さかさまことばを考えるのが難しくなります。

ご家庭では、お家の人がお子さんに、問題を言って聞かせてあげてください。また、役割交代して、お家の人もぜひ挑戦してください！

① さかさまに言えるかな？

- | | | |
|----------------------|----------------------|-----------------------|
| ・ くさ → _____ | ・ いも → _____ | ・ あき → _____ |
| ・ とんぼ → _____ | ・ ばった → _____ | ・ りんご → _____ |
| ・ みかん → _____ | ・ ぶどう → _____ | ・ かまきり → _____ |

お家の人に
言ってもらおう！



② さかさまになったことばを、もとに戻そう！

- | | | |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ・ すり → _____ | ・ りく → _____ | ・ きか → _____ |
| ・ このき → _____ | ・ しかお → _____ | ・ じみも → _____ |
| ・ けばお → _____ | ・ りぐんど → _____ | ・ すもすこ → _____ |



食べることと話すこと ～ 焼き芋・カボチャの煮物 ～

秋の味覚、サツマイモやカボチャが美味しい季節です。焼き芋やカボチャの煮物など、ねっとりしている食べ物は、すぐには飲み込めません。口を閉じ、大きく噛み、舌を動かして唾液と混ぜて、食べ物の塊を作ることによって飲み込むことができます。ねっとりしたものを食べることで、あごや舌をしっかり動かすことができるようになり、正しい発音を獲得するためにも有効的です。サツマイモやカボチャが美味しい季節にご家庭で、料理やおやつに取り入れてみてはいかがでしょうか。



お話は最後まで・・・

聞くことは宝箱

相手の話が終わるまでしっかり聴くことで、自分より相手を優先することができ、注意深く聴き取る力、集中力が身に付き、内容をよく知ることができます。習慣化すると、人をまとめる力、リーダーシップ力にもつながります。お家の人が子どもの話に「あいづち」をうちながら、最後まで聴くことで、子どもは満足感が得られ、自然に最後まで話を聴ける子に育ちます。



「聞く」ではなく「聴く」を心掛けましょう。「聴く」は「**十四の心**をもって**耳**を傾けて話を**聴く**」という意味です。子どもと視線を合わせてゆったりと聞いてあげましょう。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます。
夢と希望のもてる たからっこを 応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター
〒665-8665 宝塚市東洋町1-1
電話 0797-71-1141(市役所)
0797-77-2132(直通)
FAX 0797-71-1891
E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。